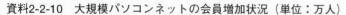
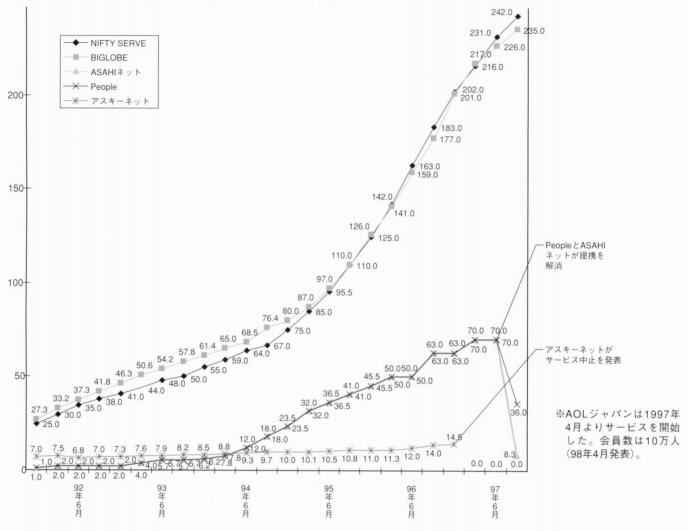
# 第2章 プロバイダービジネス ▶パソコン通信サービスの動向





出 所 (財)ニューメディア開発協会の資料を元に作成

# 解 説

#### パソコン通信の老舗がサービスを停止

1997年、初めにPana-Van/SILKがサービスを停止したのに続き、 わが国の商用パソコン通信サービスの老舗であったアスキーネットと 日経MIXが相次いでサービスを中止した。

また、長年の間サービス上の連携をしていたPeopleとASAHIネットが提携を解消した。このように比較的安定した成長を続けてきたサービスの業界にとって激動の年であった。一方、大手の2社、NIFTY SERVEとBIGLOBEは順調に会員を集めているものの1996年に比較すると明らかに月間の会員増加数は減少した(資料2-2-10)。

1996年夏にPC-VANとインターネットサービスプロバイダー事業、meshを統合してBIGLOBEという新体系に移行したNEC(日本電気株式会社)に続き、NIFTY SERVEも1997年4月のサービス開始10周年を期にインターネット対応を強化し、事実上インターネットを統合したサービスへと移行した。

この結果、わが国大手の商用パソコン通信サービスはインター

ネットプロバイダーとしてのサービスを統合した形になったため、通常のISP(Internet Service Provider)と異なる点をしいてあげるならば無手順(TTY)によるアクセスによるサービスもインターネットと平行して提供していることである。

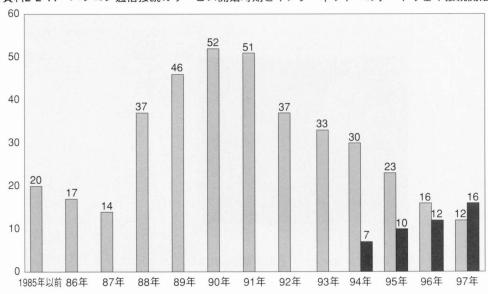
電子ネットワーク協議会(事務局は財団法人ニューメディア開発協会)のパソコン通信加入者統計も1997年秋の発表からは従来のパソコン通信サービス加入者ではなく、ISPのダイヤルアップ接続の加入者も合わせた会員数の推定を発表した。この結果、1997年6月時点での会員数は789.4万人と推定している(http://www.nmda.or.jp/nmda/net97/net97-press.htmlを参照)。

また、この調査によれば、パソコン通信からインターネットへのゲートウェイサービスの開始も1994年の7社から年毎に増加し、1997年には16社がこのサービスを提供している。

パソコン通信のサービス開始は1990年の52社をピークに年々減少し、1997年には12社となっている(資料2-2-11)。

# 大手パソコン通信サービスがISPへ参入

資料2-2-11 パソコン通信接続のサービス開始時期とインターネットへのゲートウェイ接続開始時期

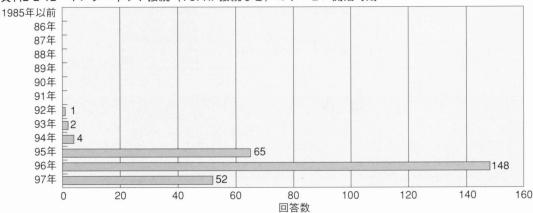


□パソコン通信接続の サービス開始時期

■パソコン通信からインターネット へのゲートウェイ接続の開始時期

出 所 (財)ニューメディア開発協会の資料を元に作成

資料2-2-12 インターネット接続(TCP/IP接続など)のサービス開始時期



出 所 (財)ニューメディア開発協会の資料を元に作成

## 解説

### パソコン通信型サービスの特色

#### (1) 電子メール

NIFTY SERVEを例にとれば、電子メールはパソコン通信、インターネット両方の環境でアクセスすることができるため、自宅、会社、モバイル環境などで種々のアクセス手段や端末を使い分けることができるという特徴がある。

また、電子メールをパソコン通信側かインターネットへ転送することを併用すれば、上記アクセス方法と合わせて非常に便利な電子メールの利用方法になる。

インターネットとパソコン通信の電子メールトラフィックの増加傾向は変わらず、NIFTY SERVEの例では1998年2月に月間4,000万通にも達している。

この中には、いわゆるスパムメールも含まれており、パソコン 通信のIDがアルファベット部分と数字からなっていることを利 用してアルファベット部分を固定し、数字部分を変えることによって大量の電子メールを発信しているものと思われる。

#### (2) ウェブブラウザーによるコンテンツへのアクセス

パソコン通信の場合、すでに文字ベースのコンテンツが豊富にあることから、会社の環境(LAN)と通常のウェブブラウザーソフトでパソコン通信にアクセスしたいという要望に対処するためにNIFTY SERVEではASCIIコンテンツをHTMLに変換するサービスを開始した。また、インターネット上にコンテンツだけを切り出して提供するサービス(BIGLOBEのルンルンコース、NIFTY SERVEのオープンコース)は接続とコンテンツを分離したサービスとして、パソコン通信型サービスの今後の1つの動向を示したものと言える。

(岡田智雄・ニフティ株式会社代表取締役社長)



# 「インターネット白書ARCHIVES」ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年~2012年までに発行したインターネット の年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以 下のウェブサイトで公開しているものです。

# http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- ●記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- ●収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の 著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- ●著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- ●このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくま で個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- ●収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名お よび年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記くだ さい。
- ●オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D (初期は株式会社インプレス)と 著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全 に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的 な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D | 🖂 iwp-info@impress.co.jp

©1996-2012 Impress R&D, All rights reserved.